

「遠き別れに たえかねて」

韓 吉新

三井物産(株) 新葛西寮
早稲田大学

留学生支援企業協力推進協会専務理事・事務局長・故太田篤殿に、当協会の元で四年余りお世話になった一留学生として、謹んでお別れのご挨拶を申し上げます。こうして太田さんに弔辞を捧げることになり、誠に残念で、惜別の思いで今でも心が崩れそうです。

2月7日に訃報を受けたとき、俄かに信じ難く同じメールを何度も読み直しました。それでも何かの間違いだと思い、同じく協会でお世話になった友人に同じメールが届いたかを尋ねた後、心が鉛のごとく沈んでしまいました。それほど突然の出来事だったのです。最後に太田さんにお会いした昨年12月20日では、いつも通りに気さくな感じで私達と接してくれて、いつも以上に私達の事を考えてくださいました。「達筆だね」と万年筆を使う私を褒め、「私も大事に使っている万年筆を持っているよ」と自分の宝物を自慢する太田さんの微笑みが今でも目に浮かびます。それが、私と太田さんの最後の会話でした。願わくは、もっと色々お話を聞きたかったし、人生相談もしたかったです。

同じ早稲田出身のため、太田さんに対して以前から親近感を抱いていました。また、家族が遠く離れた海の向こう側にいる私達にとって、気さくに接してくれる太田さんの存在はかなり大きかったです。異国での生活は私達にとって期待を膨らませたと同時に、「異文化に溶け込むことができるのか」、「うまくここでの生活に馴染むことができるか」のような不安も積もります。私が「留学生支援企業協力推進協会」に所属したのは2016年後半からで、ここでは日本の舞踊や出張授業などの日本文化に深く触れる機会があり、金銭面で余裕がない私達留学生に社員寮を紹介してもらいました。協会での出来事の一つ一つが私を色々な面で助けてくれました。協会の設立に参画した太田さんへの感謝の言葉が絶えません。

これから協会に行くとき、いつもそこに座っているはずの太田さんの姿がなく、ユーモアが絶えないお話が聞けないと思うと、悲しい気持ちでいっぱいになります。ここ数年頑張ったおかげでやっと博士号を取れるのに、朗報を伝えることができる方が一人減ったと思うと、虚しくて切ないです。多分私以外の協会でお世話になった皆さんも同じ考えです。

時が移り、また紅葉の季節がやってきました。バトンタッチされた次世代の私達は太田さんの分まで今もこれからも頑張って協会を支えていきたいと思えます。そして太田さんが誇れる人として世界で活躍したいと思えます。どうか暖かく私達を見守っていてください。

今までたくさんの微笑みや温もりをどうもありがとうございました。太田さんのご冥福を心からお祈り申し上げます。

韓 吉新
2020年9月11日